



福井市開発1-1008 TEL: 54-2819 FAX: 54-9769 E-mail: keimo-e@fukui-city.ed.jp  
学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

もうすぐ令和3年が終わろうとしています。みなさんにとって今年はどのような年でしたでしょうか。先日発表された今年の漢字は【金】でした。【金】メダル・【金】字塔などのうれしい話題や給付【金】・休業給付【金】など、コロナウイルス感染症関連の言葉が思い出されます。

さて、来たるべき令和4年が気持ちよくスタートできるよう、24日からの冬休みをしっかりと過ごしてくれることを期待しています。特に、家族の一員として、掃除や片付けの仕事を積極的に引き受けてほしいです。保護者の皆様・地域の皆様、子供たちをどうぞよろしくお祈りします。

## 1 「ぞうさん ～人権週間～」 全校朝礼：12月 2日(木)

みなさん、ぞうさんの歌を知っていますか。いっしょにうたってみましょう。

「ぞうさん ぞうさん おはなが長いのね そうよ かあさんも長いのよ」

「ぞうさん ぞうさん だれがすきな の そうよ かあさんがすきな のよ」



この歌は「まど・みちおさん」が作りしました。まどさんは他にも「一年生になったら」「やぎさん ゆうびん」など、皆さんが知っている歌をたくさんつくった人です。

さて、この歌は何のためにつくられたのでしょうか？

先生は、ぞうさんのゆったりとした様子を紹介する歌だと思っていました。

しかし、この歌には次のようなまどさんの思いが込められているのです。

「ぞうさん おはなが長いのね」 → どうしてわたしたちと違うの？

「ぞうよ かあさんも長いのよ」 → かあさんも長いんだよ。すてきなことでしょ。

「ぞうよ かあさんが好きなのよ」 → かあさんの子供として、ぞうとしてうまれてきてよかった。

ぞうさんは、ほかの動物に「君は鼻が長い」、「見た目が違う」と言われても、胸を張って自分の個性を受け入れています。

まどさんはインタビューに次のように語っています。



ぞう だけではありません。けものでも 魚でも 鳥でも、いいえ 草でも 木でも数限りない生き物みんながそれぞれの個性をもって生きていることは、なにものにもかえられない素晴らしいことです。もちろん、その中の一員として 人も同じです。

ぞうさんの歌には「人とちがうところはいいところなんだよ。ちがっているところを大切にしよう。」というまどさんのメッセージが込められていたのです。

12月4日(土)～12月10日(金)は世界人権週間です。自分もお友達も、一人一人が違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間なのです。ちなみに人権とは、「人間が人間らしく生きる権利」で、「誰でもが生まれながらにして持っている権利」です。

男の子でも女の子でも、背が高くて低くても、走るのが速くても遅くても、髪の毛や肌の色がちがっても、それぞれの違いを大切にしていきましょう。

「笑顔でいっぱい啓蒙小学校」にするためにがんばってほしい三つのこと、「元気なあいさつ」「友達となかよく」「ねばり強く」の中の、「友達となかよく」に関係するお話でした。

人と違う自分を好きになりましょう。自分と違う友達と一緒になかよく生活していきましょう。

## 2 「そうさんの話を聞いて 子供たちの感想」：0数字は学年

- ①わたしはせやはだのいろやかみのけやせいかつがちがっても、その人にいじわるしないでなかよくすることが大切だとわかりました。これからひとりひとりがちがってもやさしくあそんであげたいです。
- ①そうさんのうたのおはなしで人とちがうのはいいところということがわかりました。わたしも人とちがうところをたいせつにしていきたいとおもいました。
- ②わたしは、そうさんのうたのまど・みちおさんがどう思っていたか、いみがわかりました。それは、そうさんはわたしたちとちがうけどいいよ。そうさんとしてははずかしくないよ。みんなちがってみんないいといういみということがわかりました。
- ②わたしは自分とはちがうお友だちとなかよくなりたいたいです。みんなとなかよくしたいです。自分のことをすきになりたいなと思いました。自分のすきなところをみつきたいです。
- ③ほかの人となかよくなりたいたいと思いました。1～6年生の人と、まだお話していない人もいるので、なかよくなろうと思いました。3年生でクラスがえをして、新しい友だちと出会ったときはきんちょうしてあまり話せなかったけど、話していたらだんだん慣れてきて友だちになれたので、ほかの3年生となかよくなって、いっしょにいろんなことをして遊びたいと思いました。
- ③一人一人、自分だけのものをもっていて、たとえ自分とちがう「かちかん」をもっていても、さべつをしてはいけないことがわかりました。自分らしさをどうどうとはっきできる勇気がつきました。
- ③そうさんの歌は、思いがこめられた歌だと思いました。みんなちがうけれどみんないいと知りました。そして自分は、みんなとちがうかもしれないけど、自分を大切にしたいと思いました。
- ④一人一人の個性を大切にしていきたいなあと思います。自分と全然ちがう人とも、わかり合ってそれを深めたいです。今月は人権週間で、いじめのない、みんながなかよくできる目標をつくりたいなあと思います。そして、一番大事なのは、気持ちと心なのではないかなと思います。これからもいろんな人を大事にしたいです。
- ④「そうさん」の歌にそんな意味がこめられていたとは初めて知りました。自分の個性を自分が気付いていないときは、友達とよく接していないしょうこなので、だれとでもなかよくなりたいたいなと思いました。個性はその人だけがもっているいいところなので、自分の個性を好きになって大切にしたいなと思いました。
- ⑤ぼくは意味を知らずに、そうさんの歌を歌っていたけど、意味を考えるとすごいと思いました。また、人権週間のことも考えて、毎日を生活しようと思いました。
- ⑤人権とは友達のいい所を探すことだとわかりました。校長先生は人権の話を歌のそうさんにつなげていました。そうさんの歌で「なぜお鼻が長いのよ」という問いがあり、それに答えたそうさんは、「そうよ母さんも長いのよ」という、いいところを自分でみつけるのがすごいと思いました。
- ⑥小さい頃に歌っていた「そうさん」に、みんなと違うのは素敵なこと、というような意味があることを知りました。自分と違うとなんだかこわい気がするけど、かみの色、はだの色などが違う人にも平等に接したいなと思ったので、この人権週間を大事にしたいです。大きくなっても、人権週間を思い出して、人権について考えてみようと思います。
- ⑥まど・みちおさんの歌に大きな意味があったことを初めて知りました。最初はそうさんの歌を聞いたときに、歌詞が人に関係するものだと知りませんでした。自分がみんなの違ったところを直すのではなく、大切にすることが大事なのかなと思いました。これからの生活で自分の特徴を生かしていこうと思いました。
- ⑥人権は「ちがう所を大切にすること」という所に納得しました。人権は差別などを起こさないようにすることだと考えていたので、よい言い方でいうと違いを大切にしたらいいんだなと思って、分かりやすくなりました。そうさんの歌は子供が歌ったりする歌なので、そんな意味がこめられていて意外でした。人間だけじゃなくても、いろんな物の違いを大事にしていきたいです。

人権週間中には、各クラスで大切にしたいことを「わたしたちの人権宣言」として発表しました。

☆ひまわり・たんぼぼ組の人権宣言：「人とちがっても自分は自分 友達も自分もたいせつにしよう。」